

弁護士による、客観的な採点！

# 丁寧な添削指導と、充実した講評で合格ラインの見極めができる！

提出いただいた答案は、私以外の弁護士が採点基準に基づき、丁寧な添削を施し返却します。そのため、客観的な採点者の着眼点(▶絶対的な合格ライン)と、今後の勉強の方向性が見えてくることでしょう。さらに、受講生の答案を見て書いた講評と、提出答案からセレクトした受講生の答案を、後日配布します。これらを読むことで、相対的な合格ラインの感覚が把握できるようになります。

## ■ 答案添削

TAC W	論文書線 答案用紙	氏名	カネコ	所属	1300
司法試験講座		受験年度	2024	科目	民法

解説/回答

1. 「争点」として「権利の帰属」と「債権の行使」を挙げ、これらが争点である。争点は争点として明確に示さなければならない。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。

2. 争点「争点」として「権利の帰属」と「債権の行使」を挙げ、これらが争点である。争点は争点として明確に示さなければならない。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。

採点者の視点から見た答案の良い点・悪い点はもちろん、改善するためには今後どのような方向性で勉強すべきかアドバイスもします。

さらに安心！

個別相談制度

## 個別答案指導

「4A 実践答練(全科目)」・「4A 基礎講座パック」・「4A 予備総合パック」をお申込みの方への特典として、私自身が、皆さんの答案(構成)を見て、具体的な改善策等のアドバイスををする「個別答案指導」を、定期的を実施します。個別指導は私の真骨頂とも自負していますので、ぜひご利用ください。

## 講評・受講生の答案

1. 解説  
1. 今回は、第1問と第2問とで構成された答案があったため、第1問は早急にお返せして、第2問は別紙を提出というケースです。最近の解答傾向の一つとして、今年度は過去と比べて、第2問で途中を放棄したものの割合も増えました。その対策としては、第2問とも奮闘していくこと、第2問とも奮闘を続けるという姿勢が求められます。実はこの、第2問も取り組んでください。

第1問は、全体的な印象はよかったですが、途中を放棄してしまっていました。失格点の要素もちらりと出ていた。その中盤あたりはめいめい読み進められていた。失格点の要素もちらりと出ていた。その中盤あたりはめいめい読み進められていた。失格点の要素もちらりと出ていた。その中盤あたりはめいめい読み進められていた。

現時点での合格ラインは、2問合計で50点(目安：第1問30点)

2. 講評  
1. 第1問  
(1) 争点  
A「1」は争点の抽出に「争点」を抽出する。争点の抽出は争点として抽出する。争点の抽出は争点として抽出する。争点の抽出は争点として抽出する。

(2) 争点「争点」として「権利の帰属」と「債権の行使」を挙げ、これらが争点である。争点は争点として明確に示さなければならない。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。争点の抽出は、争点の抽出の観点から行う必要がある。

採点者が注意している点や、今後の勉強の方向性についてのアドバイスが記されています。

出題者の視点や実際の受講生の答案作成レベル等を把握することで、復習はもちろん、今後の答案作成にも活かしてください。

